

イブサ IPCSA（スマート農業イノベーション推進会議） 設立総会の開催（R7.6.27）

- 農業者、民間企業、地方公共団体、大学、研究機関等の約1000名の多様なプレーヤーが参画。
- スマート農業の推進に意欲的な農業者、スタートアップ、有識者等による講演及びパネルディスカッション等を実施し、**スマート農業技術の活用に向けた参加者の機運を醸成**。
- 参加者との意見交換を通じて、スマート農業技術を活用して「**儲かる農業**」を目指すこと、**世界をリードする優良な成果や技術を創出**していくこと等、IPCSAの役割や活動の重要性について**共通認識を深めた**。

設立総会当日の様子

○政務官挨拶



山本政務官

○事務局挨拶



農研機構
久間理事長

○決意表明



浅井運営委員長

○IPCSA活動紹介



農水省
齊賀技術政策室長

○基調講演



女子栄養大学
中嶋教授

○スマート農業技術活用促進法に基づく計画認定者の取組紹介



㈱おしの農場
押野専務

○閉会挨拶



㈱Root
岸代表
農水省
堺田技術総括審議官

参加者からの主な意見

- スマート農業を導入することを目的としてはいけない。「**儲かる農業**」を目指し、経営の基盤安定や次世代への継承にとって**スマート農業が必要であるという共通認識の下でIPCSAの活動が推進されることを期待したい**。
- **インプットをいかに少なくして、アウトプットを最大化できるかがポイント**。地域ごとに、**その作物の一番の理想形を示すことができるかが重要になる**。
- 特定の品目や経営、中山間地など、マーケットが小さく**単独で解決できない課題でも、IPCSAを通じて、他との共通点を見出すことができるのではない**か。
- データ活用などのサービス支援の展開では、熟練者が新規就農者かなど**利用者の属性によってサービスの設計が変わってくる**。そこで**差別化していくことが必要**はないか。
- **世界から評価される成果や技術を生み出し、グローバルな活動の展開に期待したい**。
- とてもワクワクしている。IPCSAの中で、先進的な農業者等から、**これまでの課題やこれからの可能性などをもっと学びたい**。
など

○パネルディスカッション



（左から三輪氏、浅井氏、鈴木氏、平氏、内藤氏、押野氏、岸氏）

○交流会



（参加者間の交流）



（スマートグラス実演会）